お年寄りの居室整備に
資金を融資
早目に申込みを

市では、お年寄りの居室整備に、新しく「転貸制度」を設けました。

これは、お年寄りが住むための部屋を増築、または改築しようとする人に、五十万円を限度として整備資金を融資するものです。

借り入れご希望のかたは、七月十日（水）まで、社会福祉事務所あてお申し込みください。

○対象者…六十歳以上のお年寄りと同居していて、自力で専用居室の整備が困難なかた

○貸付限度額…一世帯について五十万円

○貸付利率…年三・二％

○貸付期間…十年以内

○償還方法…元利均等月賦償還

なお、今年度の貸付対象者は四件です。また申し込みの多い場合には、調査のうえ決められます。くわしくは、社会福祉事務所へ…。

老人などの医療費受給者証
更新時期です
29日まで手続きを

市では、七十歳以上のお年寄りなどに、医療費の無料化をすすめ、老人や身障者に「医療費受給者証」を発行しています。その「受給者」の更新時期が近づきました。

更新期限は六月二十九日です。カード、印かん、保険証をもって、忘れないで社会福祉事務所の窓口で、手続きをすませておきましょう。

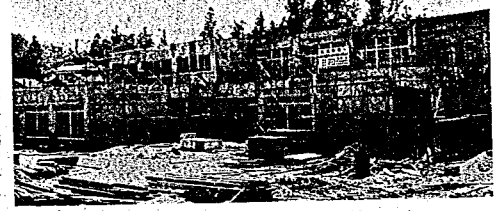
なお、こんど七十歳になられたかた、ねたきりの老人、身障者となったかたも、この期限内に申請してください。

老人福祉センター

お年寄りの〝いこいの場〟
もうすぐ完成します
―市内にまた自慢の施設―

新津市に自慢の施設が、また誕生します。それは、お年寄りたちが〝いこえる場〟老人福祉センターです。

いま秋葉グラウンド跡は、この夏のオープン目ざし、急ピッチで工事が進められています。


急ピッチで工事が進められる老人福祉センター

市では、市民のみなさんから健康な明るい毎日を過ごしてもらうため、下水道や公営住宅、ごみ処理施設、道路の整備など、生活関連施設の整備をすすめる中で、お年寄りのための福祉センターも、いま完成を急いでいます。

前にも紙上でご紹介したとおり、この老人福祉センターは、秋葉グラウンド跡に鉄筋コンクリート造り二階建てで、大集会室や娯楽室、豪華な超音波浴場も備える近代的なお年寄りの保養施設。全館には冷暖房が完備され、この夏の完成を急いでいるものです。

このほどコンクリート外壁、窓枠取付け工事も終って内外装工事の仕上げ段階に入り、工事の進行状況は七〇％近くも進みました。

お年寄りたちがお風呂につかり、明日への活力がやしなえる〝憩の施設〟も完成まであとわずかです。

旧交をあたためあうお年寄りたち

「やあ元気だノウ……」
盛況だった老人福祉大会

おだやかな日和――初夏の風がさわやかに感じられる五月二十五日、第十二回目の老人福祉大会が市民会館で開かれました。

〝おらが自慢の施設〟には朝早くから、若いころきたえた健脚にものをいわせて、二千五百名あまりのお年寄りたちが一堂に会しました。

新津市老人クラブ連合会の総会も兼ねるこの大会。単位クラブの自主的な活動を積極的に進め、豊かな生活をと、老人パワーは健在です。

会場では、一年ぶりの旧交をあたため合う人、お互いに手を取り合って話に花がさく人、かわいいお孫さんと一緒のおばあちゃんたち――毎年この日を楽しみに待つお年寄りたちは、いっぱいのようです。

また、大会終了後には演芸プログラムも組まれ、浪曲、民謡などの出し物のほかに飛び入りも手伝って、楽しいひとときがありました。

おぼえる電話＝プッシュホン
長い電話番号でも　お申込は☎4―1000へ
短く記憶して
ボタン3つでOK　心をつなぐ　新津電報電話局

新津地域土地開発公社
用地買収・軌道に
四十八年度終末処理場用地など確保

新津市、亀田町、小須戸町、横越村で運営する新津地域土地開発公社（理事長＝新津市長）が、先ごろ市民会館で理事会総会を開き、これまでの運営経過や、今年度の事業計画などについて協議しました。

私たちのまちが、住みよく働きよい環境になるには、いこえる場所をはじめ、道路や学校など市民のための施設がいろいろと整備されていなければなりません。

土地開発公社は、これらを整備するに必要な公共用地を計画的に確保したり、また調査や測量、それに土地造成などこれまで一市町村がやってきたことを代わって行なうために、新津市、亀田町、小須戸町、横越村の四市町村が出資団体となって、昨年の五月に発足したものです。

初年度の四十八年度は、スタートまもないこともあり、それに景気抑制のための金融引き締めなどによって、計画していた全部の事業を消化するまでにいたりませんでしたが、それでも六万四千二百九十六平方メートル（約二万坪）におよぶ次の公共用地を確保するなど、公社事業も進展をみることができました。

新津市では、関係地域のみなさんの協力によって――

○…火葬場脇に下水道終末処理場用地を

○…新津駅裏（材修場裏）から山谷西方面へ、都市計画街路としての幅員十八メートル道路用地を

○…七日町線農道を広げるための用地を

亀田町では――

○…保育専門学院用地と公園用地を

小須戸町では――

○…公園用地とその代替用地を――それぞれ先行取得できました。

今年度事業――
工場団地用地を計画

今年度は、総額十億一千七百七十七万九千円の事業費でさらに新津地域の公共用地の整備を目ざすことになりました。

新津市の関係では、今年度事業として、次の用地の確保が計画されました。

○…満願寺線農道などを広げるための用地

○…秋葉山の総合公園化をさらにすすめるために、秋葉湖周辺の一部用地確保

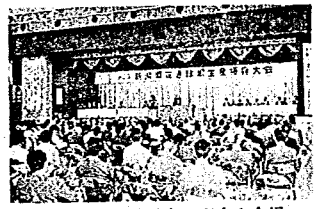
○…工場団地の建設場所をにつめ、その用地を確保して造成すること――など、六億円の事業費が見込まれています。

良質の球根生産を
―県花き球根生産大会開く―

品質の良い球根生産をはかろうと、県内の花き球根生産者たちが、研修と振興のための大会を、さる四日市民会館で開きました。

この県大会には、二百五十人あまりの生産農家の人たちが参加して、新しい時代に対応した花き球根づくりを目ざして、熱心に討論を展開しました。

また大会では、きれいな、くさらない充実した球根づくりに徹しよう――など、四つの大会スローガンや品質、種苗の向上など当面の振興方策を決議しました。


園芸生産の発展をめざす大会場

なお、会場となった市民会館には、園芸生産基地のまちと、その振興を象徴するかのように、見事な〝さつき〟が並べられ、雰囲気を盛り上げていました。

にぎわった県さつき展
新品種も発表

県外からの愛好者も多かったさつき展

初夏の陽ざしを受けて、紅白・紫の花が咲き競う「県さつき展」が、今年も一日から六日間、堀出神社境内で開かれました。

当市をはじめ、園芸生産の盛んな近郊の生産者からは、腕によりをかけて育てた自慢の〝さつき〟が展示され、樹齢四・五十年という見事なものから、新しく開発された新品種なども発表されて、訪れる愛好者の目を楽しませていました。

また、育てる夢を託した苗木の即売会では、用意された五千本にものぼるさつきの苗木が飛ぶように売れるなど、花と緑を求める人たちで終始にぎわっていました。

表具　鈴木つしや
一級技能士　法定防火壁装工事店
訓練指導員　建設業登録店
本町3☎2-2035

ロマンスのヒロイン
資生堂ビューティケーク
本町2丁目　マツヤ　TEL(2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり